

宮古島警察署協議会 議事概要

開催年月日	令和元年6月14日(金)17:00~18:15	
開催場所	宮古島警察署	
出席者	協議会委員 (7名)	謝花浩光、池間仁、羽地芳子、喜屋武文代、佐久川英雄 多良間隆、砂川春美
	警察署 (9名)	署長、副署長、各課長等
議事概要	<p>1 委嘱状交付</p> <p>2 協議会会長及び同副会長の選出</p> <p>3 会長挨拶</p> <p>4 署長挨拶</p> <p>5 管内概況説明</p> <p>6 前回協議会開催時の要望に対する回答</p> <p>委員：市営陸上競技場近くの交差点であるが、通過する際に、信号機が設置されていないことから、危険に感じることがある。やはり、信号機の設置がなければ事故が起きかねない交差点だと思うので、信号機の設置を検討してもらいたい。</p> <p>警察：同交差点は、従道路側に一時停止の交通規制線や停止線も表示されている。さらに、道路管理者である市が、道路中央にポストコーンを設置し、優先道路が明示された交差点となっている。しかし、今後、改めて交通量や交通環境などの現場調査を実施して、信号機の設置について検討していきたい。</p> <p>委員：伊良部大橋では、後続車による追越しが増えているように感じる。最高速度の引上げについて見直した方が良いのではないかと。</p> <p>警察：その件については、現行の速度 40 km/h 制限から速度 50 km/h 制限へと、速度を引き上げることを既に上申している。</p> <p>委員：街路樹が伐採されず見通しが悪くなっている道路や、カーブミラーが破損しているもの、標識が不備となっている状況などが見受けられる。これらについては、早期に改善して欲しい。</p> <p>警察：その件については、既に道路管理者に要請しており、公安委員会設置の規制表示については、本年9月以降に表示される予定である。</p> <p>7 協議</p> <p>(1)「高齢者に係る運転免許について」</p> <p>委員：高齢運転者による運転免許証の自主返納についての専用窓口等はあるのか。</p> <p>警察：警察署の交通課や安全運転学校の窓口で受け付けている。</p>	

高齢運転者の運転免許証の返納を促進するため、警察署としては、返納者を対象としたサービス等のメリット制度について、さらに周知を図っていきたいと考えている。

委員：昔の老人は、皆バスを利用していた。メリット制度に公共の乗物で、バスの利用を加えてはどうか。

警察：宮古島のメリット制度については、他の地域に比べて進んでいる方であると考えているが、バスに関するサービスを受けれるよう、バス会社などと協議したい。

委員：最近、全国的に高齢者が関わる交通事故が増加していることから、交通事故に巻き込まれないためにも、私の経営する保育園では、園外における子供達の散歩を中止した。子供たちの命を守ることを何より最優先に考え、交通事故が発生しそうな交差点などで、事前に対策を講じることはできないか。

警察：事故発生を抑止するための対策については、道路管理者との連携を密に行っていくほか、事故態様の分析結果に基づいた対策等をさらに講じていきたい。

保育園において、子ども達の散歩コースについて見直しを行い、安全なルートを選定することは、交通事故を避けるうえで非常に有効な方法である。

委員：低速走行するドライバーや高齢者のドライバーによる運転などに対する対策はどのように行っているのか。

警察：高齢者のドライバーに対する交通安全対策として、参加・体験型の交通安全教室を開催する等し、適時、指導を行うようにしている。

(2)「少年による飲酒対策について」

委員：少年による飲酒対策について、どのような対策を行っているのか。

警察：学校において生徒を対象とした講話や指導を行っており、また、ボランティアと連携したパトロールも実施している。また、これから開催が予定されているお祭りについては、主催者側にアルコールの販売を自粛するよう申入れを行う予定である。

(3)「駐在所の統合について」

委員：福嶺駐在所が統合されることに対し、地元から不安の声が上がっている。年寄りの中には、駐在所がなくなったと思っている人もいる。

警察：警察では、限られた体制の中で警察力を最大限発揮するため、管内の人口、治安情勢などを踏まえて総合的に検討を行っており、その結果、福嶺駐在所と福里駐在所が統合されることになった。決して、駐在所が廃止された訳ではない。

今後、引き続き、自動車警ら係員や、近隣の駐在所員等と連携して防犯パトロールなどの活動を展開し、地域に根ざした地域警察活動を推進していきたい。

以上